

寺町界隈

TERAMACHI-KAIWAI

わたしたちの町の、わたしたちの情報誌。8月号 ■発行/寺町のまちづくりを考える会事務局 ☎21-3461 ■通算8号

特集 盛夏を涼しく

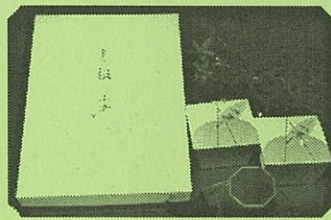
①夏の涼菓特集



・6ヶ入 1,500円
・9ヶ入 2,200円

風派堂 TEL 21-2344

新しいタイプの和風デザート菓子です。冷凍すればシャーベットとしてお楽しみいただけます。夏の王様ですよ。



とうり桃

・6ヶ入 1,700円
・9ヶ入 2,500円

三英堂 TEL 21-3403



水の彩

・10ヶ入 1,100円
・15ヶ入 1,600円
・20ヶ入 2,100円

②花火をながめ、生ビール

好評・連日開業中!



・生ビール 前売 400円
当日 500円
・枝豆・ポテト 140円
・焼鳥・たこ揚げ 200円 他

松江やよい・1Fビヤホール
TEL 23-8685

新鮮な果実の青梅、蜜柑や小豆などをつかった三種三様のみずみずしい美味しさは格別です。



TEL 21-2727

8月5日(土)・6日(日)は…
'95松江水郷祭

松江市のメインストリートでありながら整備が遅れていた寺町の松江やよい前の県道拡幅事業がスタートする。この道路は戦後何度か拡幅が計画されながら周辺土地の権利関係が複雑なこともあって挫折、市街地の街並み整備の上でもネックとなっていた。

今回の道路拡幅計画に合わせて、地元の寺町周辺の商店街では若干商店主を中心に商店街活性化の試みも検討されている。道路が広がるのをきっかけに街を生れ変わらせよう、との機運も盛り上がりつつある。松江の新しい顔づくりとしてぜひ実現させたい。

拡幅されるのは、JR松江駅前から六道湖畔にかけて伸びる県道天神町朝日町交差点から寺町交差点の区間二百三十八メートル。途中にはショッピングデパートの松江やよいがある。幅九メートルの現在の道路を、歩道を含め二十メートルに広げる、本年度中に用地買収に着手、平成十一年度の完成を予定している。

現在のこの区間は、市街地の幹線道路でありながら、道幅が狭い歩道もない。人と車がすれすれに行き交っている。沿道に建ち並んだ商店や飲食店の建物は老朽化し、廃業するところも相次いで歯抜け状態となっている。

かつてこの地域は映画館などが集中し、松江を代表する繁華街だった。しかし都市基盤整備の立ち遅れとともに商店街も衰退し、現在では市の中心部でありながら場末のような雑然としたたたずまいをみせている。

この地域の道路拡幅について戦後何度か計画された。しかし沿道の土地を二つのお寺が所有し、商店や住宅が賃借りするなど土地の権利関係が複雑なため、道路拡幅を中心とする再開発計画が行き詰まってしまった経験がある。

県など行政側は地元の同意が得られなかったことをその理由としているが、地元では行政側

社説 動き出す松江・寺町再開発

平成6年12月14日(水)
山陰中央新報社説より

がどこまで本腰を入れて再開発に取り組もうとしたか疑問、とする声もある。

しかし今回は行政側も不転の構えであり、地元も再開発に基本的に同意するなど実現の見通しが開けてきた。既に国からの補助を含め本年度三億七千五百万円の予算もつき、完成までの総事業費は三十億円が見込まれている。

計画では道路拡張に合わせてカラー舗装や電柱の地中化、さらに通りのシンボルとなる造形物やポケットパークを設置するなど都市デザイン性や景観にも新機軸を打ち出す。

こうしたハード面の整備を機に地元でも若手商店主を中心に商店街を再活性化させようとの機運が高まっている。既に地元有志らで勉強会を重ね、新しい街づくりに向けての計画を練っている。

この地域の商業施設としては松江やよいが中心となっているが、新しい構想では小売店舗よりむしろ遊び場として特徴を出していく、という。バーやスナックなどの飲み屋街に近いこの地域の立地条件からみてふさわしいのではないかと。

誤解を招くかもしれないが、松江に求められている定住条件として大人の遊び場も必要だ。動くときは存分に汗を流し、遊ぶときは思い切りはめを外す。そうした生活のめりはりを街づくりにも生かしていくべきだ。

今回の拡幅計画は、六道湖畔を終点とする同県道の途中までとなっている。残された区間は未整備のまま。六道湖畔の白濁小学校跡地には平成十年に県立美術館がオープンする。美術館へのアクセスを改善するためにも全区間の拡幅が急がれる。

市街地の道路整備で松江は全国県庁所在地でも遅れている。遅れは取り戻さなければなら

視察旅行メンバー第一次発表

中須 弘、清原靖弘、佐々布都好、江角幸子、振角雅弘、伊藤恵一郎、錦織伸行、中村富孝、岩瀬 敏、中村善次、土井郁子、黒田晶子、西尾誠治、森口 保、尾郷良太、晶子一郎、和久利清孝、高木秀人、中村明経、竹内 昇、工藤文代、嶋 教行、寺本和雄、安達茂樹、福田玲子、佐藤陽子、渡辺 満 (順不同、敬称略)
◎地域・年齢等を考慮して、次号で若干名、追加発表します。

■お店紹介

駄菓子や 染屋 (そめや)

★定休日 不定休
★開店時間 お昼前～日没ごろまで
★最低価格 駄菓子は10円からあります



白濁地区から子供が減って久しくありません。特に、万代町の町内から子供たちの歓声は聞こえなくなり、大挙して路地裏を駆け抜ける姿は、この昔になくなってしまいました。

でも、心配しないでください。駅通りの裏の筋には、たつた一カ所、子供たちのオアシスがあるのです。

優しそうな尾原のおばあちゃん、開店以来三〇年間、勉強やクラブ活動で疲れた子供たちの心の話し相手なのです。(親子二代のお客さんや遠くは出雲市からも子供たちがやってきます。)

勤めに疲れたお父さんたちが、パチンコ店や飲み屋街に自然に足が向くように、学校帰りの子供たちも、どこからともなくこの店にたむろし、あふれています。建前の世界を逃れて、お父さんたちが、カウンターの越しに愚痴をこぼすように、子供たちも、小さな手に握り締めた一〇円玉に、ささやかな息抜きを見つけているのです。

お寺さんや風俗店や駄菓子やの混在する不思議な街。やっぱり万代町は、気取らない、ホンネが似合う街なのです。

提案

わたしちびる

第二回

サンキチの
官・民・専
まちづくり

昔から、官(政治)、民(民間)、専(専門家)の三人の気狂い(?)が集まると、困難も成し遂げられるそうです。シリーズで皆さんのご意見を連載します。

官か 片寄直行

市会議員

ギャンブルのまちにしないで

まちづくりは、そこに住む住民が主人公となってすすめていくものとおもっています。ただ、松江の中心市街地である寺町のまちづくりは結局は松江全体のまちづくりにつながりますので私の雑感を述べたいとおもいます。

松江の玄関口から宍道湖にかけてのストリートは、松江の顔であり、昼も夜も清潔で美しい都市景観がデザインされたものを期待しています。

それに寺の存在は、このまちの一番の特徴ですので、静寂さと歴史的景観を保持するよう熱望するものです。

東西の駅前通りには賑わいのある都市軸を、南北の寺社群には歴史的景観を生かした町づくりを望みます。その接点をどうコーディネートするかは重要課題です。

最大の問題は、核となる施設のありかたです。「考える会」の報告書によると、現やよいの建物とその向かいにある駐車場を利用して集客力のあるアミューズメントプラザ(娯楽複合施設)を建設する構想です。ここには、場外舟

券売場、場外馬券売場、サッカーくじ売場などのギャンブル施設やゲームセンター、カラオケボックス、飲食店をおく構想となっています。

しかし、この界限がギャンブルのまちになってもいいのでしょうか。松江の玄関口、交通の心臓部にあたる場所です。

今、日本の社会は「異常」としか言いようがありません。子どものいじめ問題は後をたたく、益々陰質化し、多額の金を要求されたり、あげくの果てには、自殺や殺害までおきています。ハルマゲドンの予言を自ら演出して無差別テロを行うオウム真理教は狂っているものの、人のいのちを尊重しない風潮という点で共通した部分があります。

学校でも社会でも競争は激化し、いやなとき、ついでにいけないとき、気晴らしできるものにとびついてしまいます。それが娯楽の「魅力」のひとつではないでしょうか。

これによりストレスが解消できて学校や職場に帰ることができれば問題ありませんが、現実から逃避して、気晴らしできるものにはか反応しなくなったらたいへんです。



京店・殿町あたりは、日曜日でも閑散として驚きました。

☆アパートのはしごや東急ハンズで一日過ごす楽しみがなくなり淋しいと思えました。松江の人は、何をして遊ぶのだろうと不思議になりました。というのが、私をはじめに感じた事でした。それから、青年会議所に入会したり、また、商売にも慣れて、いろんな方と知り合えた今では、松江の人の心の暖かさや豊かさ、文化活動や社会活動に対する熱心さにあれ、とても豊かな街だと感じています。

目に見えない部分では、とても豊かであると感じますが、これから次の時代に向かって、目に見える部分で豊かさを感じるようになれば本当にすばらしい街になるのと思えます。

例えば、多くの市民が感じるように、街路樹がもっとあれば(それも、電線までの小さな樹でなく、家の3階くらい大きな樹)と思います。家並や店や看板も、なんでもありのゴチャゴチャとしたものでなく、なんとなく統一のとれたカラーとか大きさがあればなあとも思えます。

もつと、もつと想いの場、公園などが欲しいですね。それから(欲張りでしょうか?)車でサーッと目的地に行くのもいいですけれど、ちよつとプラブラしたいですね。もちろん、

大きな街路樹があつて、ベビーカーも大きな顔して通れる安全な歩道があつて、ウインドウショッピングしながら(ストレス発散に衝動買いなんてした



ギャンブルは、この気晴らし性に加え、マネーがからんでくるのでリスクを増大させます。暴力団の介在はつきものと考へても過言ではありません。

「遊ぶ金が欲しくてやった」と強盗や殺人がおきていることお考えると、青少年のみならず大人でもギャンブルのもつ危険性をよく認知しなければならな

いと思います。構想の中にはサッカーくじは、全国PTAの反対運動で法案提出さえできない状態です。

表面的には賑やかさですから、その土地の住民の本当の文化を現す活気ではないはず

それにギャンブルを目的に来た人達がショッピングを楽しむというなでしようか。あまり期待がもてないと思えます。酒乱者、ホームレスの人だつてたくさんいます。松江にギャンブル場ができてどうなるのだろうとおもうとぞつとする思ひです。

京都、奈良につぐ国際文化観光都市・松江のアプローチならびに玄関口としてこの地域は特別に意識する必要があります。報告書では、まちづくりの基本理念として、松江市内の他地区の商店街や米子、出雲等との地域間競争での優越を意識したものになっています。そうでなくともよいの

消費者はショッピングセンターや大型デパートに車を走らせ、商店街は空店舗と閑古鳥…。これは多くの都市の「普通」の光景です。しかし、「街の中心的役割を担ってきた商店街がそのままよいか」と街づくりに関わる人達は共通に考えていると思ひます。…という書き出しで始まる手紙が旧い友人から届いた。彼はここ20年間、全国各地の商店街再生のコンサルタントを業としている。松江へも何度か来たことがあり、その度に酒を飲んで議論した。

勿論、「ではこうすれば良い」という名案は出ない。「しかしながらこのままでは良くない。松江の街の魅力が城下町の遺構と宍道湖のみというわけにはいかない。湖のほとりの城下町・松江という側面と現代都市・松江という側面が補い合つて、はじめに魅力ある街といえる」という点で意見が一致するから議論にも熱がはいる。

「街から商店街が消えていく」ということと、「街の中心部がどこかわからなくなつてきた」ということが同時に進行しているらしい。しかも、地方「都市」だけではない。過疎の町村に於ても進行していると思ひはじめて久しい。「ここが私達の街(町・村)の中心である」という街の顔(又はヘソ)となる場所がどこなのか、居住者にとつても、来訪者にとつてもハッキリとは認識できない状況が、全国的に進行しているようである。これは車社会の進行・過疎化や高齢化の進行といった「自然現象」のみ原因を求めてはならない出来事のことである。むしろ、「人間が集つて住む」ということの魅力は何であるのか」と

民み 佐藤陽子

(ゆるんちん)

私のプラブラしたい街

私は、寺町で生まれ高校卒業までここにいました。そして、卒業と同時に上京し18年間東京で暮らしました。

松江には、4年前に帰つたんです。帰つた時に感じたことは、☆古い家並みがたくさん残つていて、情緒のある、い街だと感じました。

☆宍道湖や堀川など、水がたくさんあつて懐かしさを感じました。

☆水道水が甘くとても美味しいと感じました。

☆車で走ると、新しい道路ができていて、連う街に来たようでした。

☆寺町に子供の姿が見えないのと、空家が多いのに驚きました。

☆この街に根づいてこなかったのではないかと、つらいつく。

ヨーロッパの古い街の中心には広場がある。たとえ小さな田舎町であつてもこの広場が街のにぎわいの中心部をなしている。広場をとり囲むのは、教会、町(村)役場、そして市場である。イタリアのある町では、夕刻になると市民が服装を整えて通りや広場に繰り出す。格別の目的があるわけではなく、散策し、知り合いを見付けておしゃべりをし、ひとときを過ごして帰つて行く。

第二の居間としての広場の役割、生活舞台としての街…とここまで想いをはせたとき、私達が直面している課題は実は大変普遍的な課題ではないかという気がしてくるのである。アメリカ型…ヨーロッパ型、日本型、アジア型…と様々なタイプの都市へ私達の街づくりのヒントを捜す旅に出たくなつてしまふのである。そのういえば、彼の手紙は、「商業・文化・人間都市視察旅行の御案内」というタイトルであつた。



専せ 寺本和雄

(株)寺本建築都市研究所所長

『街から商店街が消える』ということはコンサルタントの単なる威し文句ではなくなつてきました。

寺町界隈

間をかけて検討いたしました。しかし、官、民いづれも、採算性に乏しく、実現、並びに運営は困難との結論にいたりました。

その後、今回の案が浮上し、モデル地域の視察とともに検討されました。その結果、松江市の他の地域の開発との差別化を計り、対抗する上でも、当地区の歴史性、地域色に沿った開発が、最も自然で、現実的で、無理がないのではないかとこの結論にいたり、今回の案となった次第です。

「ポートピアについて」

1. 公営場外舟券売場（ポートピア）とはどのようなものですか？
- モーターボート競争は国の法律に基づいて運輸省及び自治省の監督のもとで、施行される公営競技の事です。
- 現在、モーターボート競技場（本競艇場という）は、全国で二十四ヶ所あります。
- 本競艇場で行なわれているレースを状況中継により同時に大型スクリーンに写し出される画面を見ながら、ゲームを楽しむことのできる施設のことです。
- 施設の規模は周辺の人口等により多少異なりますが、一般的には二階建の建物で延面積は一、〇〇〇坪〜一、二〇〇坪です。

○建物の構造、設備については、運輸省告示により定められています。

○この様な施設を利用して舟券を発売することの出来る施設のことを、公営場外舟券売場（ポートピア）といいます。

2. 舟券はだれが発売するのですか？
- 舟券を発売出来るのは、運輸省と自治省の許可を受けた市町村（自治体）です。
3. 公営場外舟券売場（ポートピア）の設置者はだれですか？
- 公営場外舟券売場（ポートピア）は、民間会社が設置し自治体がこの施設を借り受けて発売を行います。
4. 設置に同意した場合、どのようなメリットがあるのですか？
- （自主財源の確保）
- 売上金額の一・五％が地元環境身障者の雇用にも努めています。 実際、「ポートピア具」には、十名前後の身障者の方々が従事されています。
- 特に窓口業務として女性の皆さんの就労の場が拡大されます。
- 働く皆さんの身分は進出する自治体と直接雇用契約を結ぶのが一般的です。
- 就労時間は女性の場合朝九時頃から午後四時三十分頃までが一般的ですから、比較的時間にゆとりがあり、働きやすい職場です。

まちづくりインフォメーション

万代町々内会からのお知らせ

すでに、新聞等で公表致しておりますが、去る六月二十六日、万代町臨時総会を開き、地元商店会と日本海観光（株）よりの提案を、以下の通り全員賛成で決議致しました。ここに謹んでお知らせします。（当日資料より抜粋。）

決議事項「総合娯楽施設の構想について。」

- ① 松江やよいの施設と日本海観光駐車場（旧大劇跡地）を関連させて開発し、「総合娯楽施設」を作り、活性化の核とする。
- ② 施設内には公営の場外舟券売り場を誘致する。（予定、延べ一、〇〇〇坪程度）
- ③ 施設には十分な駐車場と警備員を配置し、交通渋滞、違法駐車等を防ぐ。
- ④ 非開催時間、非開催日の地域の賑わい、道路拡幅により、短くなり分断される商店街の賑わいを補う為、施設内の各種テナントの誘致、広場の空間の創出に努める。（現在、テナントの候補として、大型ゲームセンター、大型コンビニエンス・ストア、大型スポーツ用品店、カプセルホテル等、単体で

- 集客可能なものが考えられています。また広場にはオーロラビジョンや小公園等が話合われています。）
- ⑤ 万代町の自治会の活動には、積極的に参加する他、無料の集会所、会議室等の整備、非開催日の駐車場の無料使用等も検討する。
 - ⑥ 施設に関連した多数の安定的雇用や物品購入等考えられるが、原則として、地元を最優先する。
 - ⑦ 施設ならびに地区内および周辺の清掃作業に努める。
 - ⑧ 通常より、防犯、環境面等に留意をし、公安関係との連絡を密にする。また、地元の代表者も加えた環境委員会（仮称）を常設し、良好な地区環境の維持に努力する。
 - ⑨ その他

駅本通り商店会、日本海観光（株）からのお知らせ

「総合娯楽施設構想への経緯」と「ポートピア」について

（経緯）

昨年度、ご提示、ご説明いたしました「消費者市場と公共住宅を核」としました案につきましては、その後、時

お店紹介

こんな街にしたい……。
こんな施設がほしい！

皆さんのアイデアを募集します。

例えば、「スケートリンクが欲しい。」「恋人との待ち合わせ場所がないから。」「都会にあるような街頭オーロラビジョンがあればなあ。」etc.
必ず、事務局からお返事します。本誌採用分には、薄謝差し上げます。

寺町のまちづくりを考える会

AGATHA

有希

松江寺町198番地
電話(0852)27-6161

鮮魚・仕出し

有現会社

魚 窓

●本店 ☎(21)-3313
●大星ストアー古志原店内 ☎(22)-4567

編集後記

当地は、幸か不幸か、松江の中心ということ、大局的見地のご意見をよく頂く。あるいは、国際文化観光都市とか健全な〇〇といった基準も持ち出される。では、国際的とは、文化とは、観光とは、そして都市性とは、と聞き出すと、答えは千差万別である。まして健全娯楽とは、いつも家族連れで公園に行くことしかないのか、あるいはショッピングセンターに行つて、ファーストフードを食べることなのか、小さな昆虫を可愛がる子供は、一方では虐めたり、殺したりすることにより親しみ、愛する。人間や文化とは複雑なものだ。むしろ、人間を二面的に見れない、許せない狭量な人たちが、かえつて世の中を真苦しくしているのではないか。

また、大局的見地を持ち出す人は、反対論に終始せず、是非、具体的対案を出していただきたいと思うのだが……。

表紙担当 錦織

子供の頃、夏休みに都会から帰ってくる大学生が沢山この辺りを満歩していた。皆お洒落でカッコ良かったのを覚えている。自分大学時代といえは、全く帰つてこなかった。帰つてきてもただ退屈だったから。今の大学生は帰つてきているのでしょうか。この辺では見かけない気がします……。

（高木）

ポートピアが可決され一歩前に進んだ。将来の町の型がおぼろげながら見えてきた。しかしこれがただの盛気楼に終わってしまったか、これからの努力しただと思つた。

むろん毒のあるもんだから、いかにこの毒を弱めるかは地域の我々がこれから、どのようなソフトをつくり、対外的にどれくらい「力」を発揮できるかにかかっていると思つた。

（尾廻）

「掲示板」
記事募集!

皆様に自由に使っていただく掲示板です。話題や情報、ご意見など、どうぞご自由に利用ください。送り先は事務局までどうぞ。

寺町のまちづくりを考える会
事務局 〒690 松江市寺町199 錦弘堂食品店内
TEL21-3462 FAX21-3461